

各位

東京都千代田区外神田一丁目18番13号
株式会社エスプール
代表取締役会長兼社長 浦上 壮平
(コード番号: 2471)

問い合わせ先:
取締役管理本部担当 佐藤 英朗
電話番号 03 (6859) 5599 (代表)

個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当事業年度の個別業績が、前事業年度の実績値との対比においてその差異が開示基準に達することになりましたので、お知らせいたします。当社は、当該期間に係る個別の業績予想を公表しておりませんので、対比につきましては前事業年度の実績値との比較になっております。

記

1. 2018年11月期(通期)個別業績(2017年12月1日～2018年11月30日)と前事業年度実績との差異

(単位:百万円/未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前事業年度実績(A) (2017年11月期)	1,061	△65	161	33	2円19銭
当事業年度実績(B) (2018年11月期)	1,464	△50	185	171	10円87銭
増減額(B-A)	402	15	24	137	—
増減率(%)	38.0	—	15.1	405.1	—

(注)当社は、2018年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 差異が生じた理由

当社は、事業持株会社として子会社の管理と新規事業の開発を行っております。当事業年度においては、グループ全体の業容が拡大したため、管理業務の対価として受け取っている子会社管理売上が増加しております。また、新規事業である採用支援サービスにつきましても、新規顧客獲得が進み売上が増加しております。

損益面につきましては、グループ全体の業容拡大に伴い、人員面を中心に管理部門を増強していること、及び前述の採用支援サービスの収益化が遅れたことから増収効果が打ち消され、営業損失並びに経常利益は前事業年度並みになっております。一方で、前事業年度に計上した子会社に係る債権に対する貸倒引当金繰入額及び関係会社株式評価損(いずれも特別損失)が当事業年度においては発生しなかったため、当期純利益は大幅な増益となりました。

以上